



ばななぐみだより

社会福祉法人まほろば 湊こども園

R8. 7. 27 発行



真夏の暑さに負けることなく、元気いっぱいに遊んでいる子どもたち。たくさん遊んで、食べて、そしてしっかりと休息を取りながら、夏ならではの体験を思いっきり楽しみたいと思います。

友達との関わり

友達と遊ぶ楽しさや、関わりの深まりが感じられるようになってきましたが、それと同時に遊びを通じた関わりや言葉のやりとりなどでのトラブルが増えています。「いっしょにあそぼっていつてるのに あそんでくれへん」「はなし きいてくれへん」「かしてっていったのに かしてくれへん」と誘いかけたけれどもうまくいかなかったり、「だって〇〇くんも いってた(やった)」 「〇〇された」「してない」など強く自己主張をし、ぶつかり合ったりすることもあります。また「おまえ」「おい」など乱暴な言葉を使ったり、友達とふざけて蹴り合ったりもします。人のせいにしてウソをついたり、「ごめんねっていつてるのに ゆるしてくれへん」と言って相手に対して嫌なことをしたりする姿も見られます。

今、子どもたちはこのような経験を通して、相手の気持ちに気づいたり、どうすれば一緒に遊べるか考えたりする力を身につけています。トラブルが起きたときは、まず子どもの気持ちを受け止め、次に相手の気持ちを伝えています。また、友達を傷つけるようなことをしたり言ってしまったときには、「なぜそのようなことをしたのか」「どうしたらよかったのか」「次はどうするのか」など子ども自身が考え、判断し、行動できるような言葉をかけ、一緒に考える過程を大切にしています。

友達と関わる中で、相手の気持ちを考える経験は子どもの心が大きく成長しますので、友達を大切にすることが育つよう、楽しさや喜びだけでなく、葛藤や戸惑いも経験しながら、ケガをしないように十分配慮し、少しずつ子どもたち自身で解決できるよう見守っていきます。また、安心して関われる環境を整えたり、一人ひとりの成長に寄り添いながら、豊かな人間関係を育んだりしていきたいと思っています。



きゅうりを育てたよ！

5月12日(火)に苗を植えてから約2カ月半が経ちました。お当番活動で毎日水やりをしていると、「はっぱ おおきくなってる」「おはな さいてる」と小さな気づきを保育者や友達と共有するようになりました。日々生長していく様子を見て、「きょう みずやりしないの？」

「みずやりわすれてるで」と大張り切りで水やりをするようになった子どもたち。きゅうりが大きく育つと、「きゅうり さいてる！(できてる)」「トゲトゲ いたいな」と葉っぱをそっとかきわけて観察したり、喜んで収穫したりしていました。

そして、収穫したきゅうりをどのようにして食べたいかを一人ずつ意見を出し合い、味付けしないで食べたり、ナムルやお漬物を作ったりしました。「めっちゃおいしい」「ごはんといっしょにたべたら おいしいで」と苦手な子どもも美味しさを感じたり、“おいしいからもっとたべたい”“つぎはマヨネーズがいい”など自分たちで育てた特別な味をうれしそうに味わったりしていました。

また、子どもたちの目の前できゅうりを切ると、「きゅうりのいいにおいする」「そのきりかたのきゅうりがいい」と匂いをかいだり、輪切りではなくななめに切るだけでも喜んでくれたりする姿がとてもかわいらしかったです。これからも、お友達と一緒に生長の喜びや収穫の楽しさを味わい、食べ物への興味や感謝の気持ちを育んでいきたいと思います。

